

チケットのお求め方法

発売初日は10:00から電話とインターネットで受付し、
窓口販売は翌日からとなります。

電話予約 三鷹市芸術文化センター Tel: 0422-47-5122 (受付時間 10:00-19:00)

窓口販売 販売場所: 芸術文化センター / 三鷹市公会堂 (さんさん館) / 美術ギャラリー

受付時間 10:00-19:00 休館日 月曜日 (月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

*美術ギャラリー臨時休館日 9/8(木)、9/9(金)、10/13(木)

インターネット予約 (要事前登録) <https://mitaka-art.jp/ticket>

ご予約後、チケット代金の郵便振込ができます

口座番号 〈ゆうちょ銀行〉00190-5-569156 加入者名 三鷹市芸術文化センター

*備え付けの「払込取扱票」をご利用の上、通信欄に〈予約番号〉をご記入ください。*振込手数料はお客様のご負担になります。

*普通郵便の場合84円、簡易書留ご希望の場合404円を加算してお振り込みください。*お振り込み後、10日程度でチケットをお届けします。

MARCL〈マークル〉会員募集中!! 年会費 2,000円

会員特典: チケットの優先予約・割引 (1公演2枚まで)、ポイントの還元 (ご利用額の5%)、情報誌の送付、
チケットの無料送付 (口座会員のみのみ)、スポーツ教室無料体験チケットの送付 (年1回) など

財団主催のチケットまたは半券で、三鷹駅周辺等のパートナーショップの特典が受けられます!

<https://mitaka-sportsandculture.or.jp/zaidan/info/partnershop.html>

講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp/>

スポーツ教室や市民大学、生涯学習講座などをインターネットからお申し込みできます。



公演事業では、特に表示のない場合、未就学児のご入場をお断りしています。

このマークがついている公演には託児サービスがあります。 料金: 500円 定員: 10人
対象: 1歳〜未就学児 お申し込み: 各公演の2週間前までに芸術文化センターへ (先着順)



発行 公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

〒181-0012 三鷹市上連雀6-12-14 三鷹市芸術文化センター内 <https://mitaka-sportsandculture.or.jp/>

2022.9.8

designed by Kentaro Kato, Fumiki Tomioka

September 2022

公益財団法人
三鷹市スポーツと文化財団
情報誌 [マークルプラス]

MARCL+ 167

音楽・演劇・美術・文芸・スポーツ・生涯学習

Interview

吉井瑞穂 (オーボエ) P9

Music

ジャン＝ギアン・ケラス (チェロ) P7

金川真弓 (ヴァイオリン) P8

Theater

第27班 P1

CINEMA SPECIAL 名画世界紀行 P3

柳亭市馬 P5

春風亭一之輔 P5

柳家さん喬 P6

Literature

スケッチコンテスト作品募集 P12

企画展 山本有三 一作家として、教育者として P13

秋の朗読会 P14

おはなし会 P14

太宰治展示室

企画展示 太宰治と生きる

一津島美知子の決意と生涯 P15

みたか太宰治作品倶楽部 P15

太宰治作品朗読会 P16

茶道体験教室 P16

Sports

ランニングのためのコンディショニング講座 P17

Lifelong Learning

市民大学総合コース公開講座 日本の安全保障 P18

市民大学総合コース公開講座

パレスチナで働いて思うこと P18

みたかのアウトラインを歩く (井口編) P19

アイヌの文化と物語の世界 P19

楽しい短歌 P20

ヤマトタケル伝承を読み解く P20



©Marco Borggreve

吉井瑞穂
オーボエ・リサイタル

10月2日(日) 14:00開演
三鷹市芸術文化センター 風のホール

Interview Music P9



公益財団法人 三鷹市スポーツと文化財団

「愛の、みちしるべだ」

あなたが生まれてこなければ、もっともつとうまういっていたとお母さんは泣いていました。

あなたには何も無いんだから、ずっと黙っていればいいのにと彼女は笑っていました。

それから、どうしていいのかわからなくなって、ただ歩いて、歩いて、歩いて。

僕たちは、なぜ、生き続けるのでしょうか。

小さく静かに灯る、愛の群像劇。

あらすじ

天才と称された棋士がいた。彼は対局のたびに奇抜な衣装を着ることから世間の注目を浴びていた。とあるニュースサイトの記者は彼の数奇な人生を追っていく。

凡才の男がいた。若い頃は秀才と言われていたが、気が弱く、自信がないため何事も成すことができなかった。憧れの人にも近づけず、家族も冷め切っていた。

いつだって人は戦い続けなくてはならない。過去に負けても、未来がなくても、今その瞬間、命を燃やさなきゃいけない。

第27班が手掛ける棋戦を舞台にした、愛のための群像劇。



『蛭』
2019年3月 / 萬劇場

第27班『蛭』

作・演出 深谷晃成

出演 鈴木あかり、佐藤新太、大垣 友、もりみさき (以上、第27班) 高橋茉莉、松田将希、小関えりか、石井 舞、佐藤美輝 ほか

12月2日(金)～11日(日) 全13公演

	12/2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)
13:00		★【託】	★	休 演 日					●	●
14:00							☆			●
18:00		★【託】	★						●	
19:00	★				●	●	●	●		

★…早期観劇割引 ☆…平日昼公演割引 【託】…託児あり

チケット発売日 会員 10月26日(水) / 一般 10月27日(木)

全席自由 (日時指定・整理番号付き) *未就学児は入場できません。

【会員】前売 3,000円 / 当日 3,300円

【一般】前売 3,500円 / 当日 3,800円

【U-25】前売・当日とも 2,000円 (当日身分証提示)

【高校生以下】前売・当日とも 1,000円 (当日学生証提示)

★早期観劇割引 / ☆平日昼公演割引 すべて500円引き

託児あり *12/3(土)のみ



Profile

代表の深谷晃成が尚美学園大学在学中に劇団「第27班」を結成、旗揚げ。『令和の群像劇団』をコンセプトに、リアルタイムを生きる人々の苦悩、葛藤、恋愛、性をテーマにおセンチとユーモアを織り交ぜた群像劇を創る。

2020年日本演出者協会主催「若手演出家コンクール2019」にて最優秀賞受賞

2021年劇作家協会主催「第27回新人戯曲賞」最終選考ノミネート

HP | <https://teamthe27.wixsite.com/official27>

Twitter | @Teamthe27

本公演に寄せて 作・演出：深谷晃成



撮影：太郎

2019年、初演の『蛭』を執筆している間、「戦い続けること」について考えていました。当時、世の中どいつもこいつもモチベーションを殺しに掛かってくることばかり言ってくるなあと感じておりました。

「無理してまで戦わなくていいんだよ」という声も聞こえてきます。その都度、足を止めたくな、いっそ負けちゃいたいなど呟いたりもしましたが、それでもやはり戦いたくて仕方がないのです。あがける希望があるのなら、たとえ無様でもあがきたいのです。

誰しもが戦わなければならない時代は終わりつつあります。が、戦わずにはいけない人を僕は知っています。そりゃあ勝ちたいよ。このままじゃ終われないよ。

あがく人生の群像劇です。ご期待ください。

CINEMA
SPECIAL

名画世界紀行

～映画とともに、世界を旅する～



『きっと、うまくいく』

〈インドへの旅〉

©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved

『おじいちゃんの里帰り』

〈トルコ、ドイツへの旅〉



©2011 Concorde Films

9月24日(土) 午前の部 11:00-13:51 / 午後の部 15:00-17:51【完全入替制】

鮮やかなストーリー展開と、胸躍る歌やダンスシーンの数々!

老若男女、すべての観客の心を明るくする、奇跡のエンターテインメント!

インド映画歴代興行収入第1位を記録した、そのパワーを大きなスクリーンで!



©Vinod Chopra Films Pvt Ltd 2009. All rights reserved

インドへの旅

『きっと、うまくいく』

(2009年 / インド / 171分 / カラー / Blu-ray)

監督・脚本: ラージクマール・ヒラニ

出演: アーミル・カーン、カリナ・カプール、R・マダヴァン、
シャルマン・ジョーシ、ボーマン・イラニ

チケット
発売中

型破りで自由奔放だが頭脳明晰なランチョー、動物の写真を撮るのが好きなファラン、そして苦学生で信心深いラージュの3人は、インド屈指の名門大学に合格し、学生寮のルームメイトとして出会う。期待に胸を膨らませる3人だったが、待っていたのは、学校全体の成績を上げることにしか考えていない学長や、悪しき伝統に満ちた学園生活。そこで3人は、「きっと、うまくいく」を合言葉に、学長たちに真っ向から立ち向かい始める。さまざまな騒動を引き起こしつつも、青春を謳歌していた3人だったが、卒業するや否や、ランチョーは二人の前から突然姿を消し、行方不明となってしまう。そして…。ストーリー展開の鮮やかさに加え、インド映画ならではの歌やダンスのシーンも底抜けに楽しく、観る人の心を明るくする力を持った快作であり、インド映画歴代興行収入第1位を記録した大ヒット作品となった。

自由に旅することが難しい時代だからこそ、
名優たちの演技や、心温まる物語が胸に染みる名作映画で、
世界を旅する上映会を、開催いたします。

もう一度訪ねてみたいあの街に、
いつかは行ってみたいあの風景に、
名画とともに、出掛けてみませんか?

*9月24日(土)『きっと、うまくいく』午前の部 11:00 / 午後の部 15:00 上映開始

*11月19日(土)『おじいちゃんの里帰り』午前の部 11:00 / 午後の部 14:00 上映開始

全席指定 会員 450円 / 一般 500円 / 学生 400円 (当日学生証提示)

【協力】株式会社ムービーマネジメントカンパニー、株式会社バンドラ

『ひまわり』

©1970 - COMPAGNIA CINEMATOGRAFICA CHAMPION(ITA) -
FILMS CONCORDIA(FR) - SURF FILM SRL. ALL RIGHTS RESERVED.

11月19日(土) 午前の部 11:00-12:41 / 午後の部 14:00-15:41【完全入替制】

チケット発売日 会員 9月22日(木) / 一般 9月23日(金) 託児あり *未就学児は入場できません。

トルコの田舎町の、眩しいほどに溢れる緑と太陽の陽ざしが、
『おじいちゃん』の、故郷への揺るぎなき想いに重なっていく。
父から子へ、そして孫へと続く、家族の歴史と絆を描いた傑作。

トルコ、ドイツへの旅

『おじいちゃんの里帰り』

(2011年 / トルコ、ドイツ / 101分 / カラー / Blu-ray / 株式会社バンドラ)

監督: ヤセミン・サムデレリ

脚本: ヤセミン・サムデレリ、ネスリン・サムデレリ

出演: ヴェダット・エリンチン、ラファエル・コスリース、
リレイ・フーザー、アイリン・テゼル



©2011 Concorde Films

1960年代に、少しでも豊かな生活をとの思いから故郷トルコを離れ、家族を連れてドイツに移住したフセインは、慣れない異国の地で家族を支えるために一心不乱に働き続け、今や孫もいる大家族の『おじいちゃん』になった。そんなある日、フセインは、故郷の地に『家』を買ったので、皆でトルコに行こうと家族に告げる。突然のことに、子や孫は口々に反対するが、フセインの強い思いに押し切られ、皆の休暇の日に合わせて、一家全員でトルコへ『里帰り』することになる。三世代それぞれが、悩みや葛藤を抱える中、大家族のトルコへの旅が始まるが…。トルコ系ドイツ人二世のヤセミン・サムデレリ監督が、実妹ネスリンとともに共同脚本を手掛けた本作は、目立たぬが懸命に生きてきた市井の人々の、それぞれの人生における家族の歴史や絆という重みを、ユーモアあふれるセリフで見事に描き切り、国や世代を超えて大きな反響を呼んだ傑作である。

速報

2023年1月の
上映作品が
決定しました!

2023年1月28日(土) 午前の部 11:00-12:54 / 午後の部 14:00-15:54【完全入替制】

アメリカへの旅 『タクシードライバー』 (1976年 / アメリカ / 114分 / カラー / Blu-ray)

監督: マーティン・スコセッシ 主演: ロバート・デ・ニーロ チケット発売日 会員 11/17(木)、一般 11/18(金)

*『名画世界紀行』上映会は、2023年7月まで続く予定です。

3月以降の上映作品、日程は決まり次第、情報誌MARCL+、財団HP、Twitterで、お知らせいたします。

映画

4

芸術文化センター 星のホール

ジャン＝ギアン・ケラス

無伴奏チェロ・リサイタル

—dance—

しなやかに、軽やかに
今、チェロとともに

♪ 曲目

J.S. バッハ：
無伴奏チェロ組曲第6番
ニ長調 BWV1012
カサド：
無伴奏チェロ組曲
コダーイ：
無伴奏チェロ・ソナタ op.8

ジャン＝ギアン・ケラス
(チェロ)
©Artürs Kondrats

dance

12月18日(日) 14:00開演 *2020年12月に中止となりました公演の振替開催となります。

チケット発売日 会員9月15日(木) / 一般9月16日(金) 託児あり *未就学児は入場できません。

全席指定 会員S席4,500円・A席3,600円 / 一般S席5,000円・A席4,000円
O-70(70歳以上/A席限定)3,600円 / U-23(23歳以下/A席限定)3,000円
*U-23の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

バロックからコンテンポラリーまで広範なレパートリーを持ち、どんな難曲も自在に弾きこなす驚異のテクニックを持つチェリスト、ジャン＝ギアン・ケラス。コンテンポラリーダンスやワールドミュージックのアーティストたちとの共演も行うなど、今や押しも押されぬ実力と人気を誇るケラスが、風のホールに4年ぶり4度目の登場を果たします。

今回は4度目にして初めてとなる無伴奏のプログラムです。選曲のテーマを決めるにあたりインスピレーションを得たのは、ケラスが2019年5月にベルギーが誇る世界的なダンスカンパニー、ローザスと共に東京芸術劇場で披露した『我ら人生のただ中であって / バッハ無伴奏チェロ組曲』です。絶妙な間合いを持ち、踊るようなリズムで滑らかに、生き生きと演奏されるチェロとダンサーたちが生み出す自然なグルーブが融合したその唯一無二の舞台は大きな話題となり、客席からは惜しみない拍手が送られました。

同年12月に当財団音楽企画員がスペインで行われた演奏会でケラスに再会し、三鷹公演の話をした翌年、新型コロナウイルスのパンデミックが、人々が営

む日常生活に大きな影を落とし、閉塞感や孤独感が静かに、深く広がっていきました。しばしの間だけでも人々の心に希望の明かりをともし、心が軽やかに飛翔するような音楽を届けたいと考えた際に、ケラスとローザスとの素晴らしいコラボレーションが鮮やかに脳裏に蘇ったのは言うまでもありません。そこで日本側のエージェントを通じて相談し、“dance”(踊り)をテーマに据えた選曲が進められることになりました。

本公演のプログラムは3つの作品から構成されます。冒頭に演奏されるのは、現代屈指のバッハ弾きとしても知られるケラスの名刺代わりの1曲、バッハの無伴奏チェロ組曲より第6番。パルセロナ出身で日本にも縁のあるチェリスト、カサドの地中海に面したカタルーニャの情緒豊かなチェロ組曲を経て、ハンガリーの舞曲ヴェルブンコシュの様式を踏まえて作曲されたコダーイの無伴奏チェロ・ソナタで締めくくります。

ケラスの流麗なボウイングから繰り出される、歌うように踊るように紡がれる音楽は、どこまでも美しく、自然体。どうぞご期待ください。

2019年 チャイコフスキー国際コンクール第4位
2018年 ロン＝ティボー国際コンクール第2位および最優秀協奏曲賞

金川真弓

ヴァイオリン・リサイタル

凛とした美しさ、流麗にして鮮やかな音色
深く豊潤な音色に風格漂う、
今注目の若きヴァイオリニスト

2023年2月23日(木・祝) 14:00開演

チケット発売日 会員9月29日(木) / 一般10月6日(木)

全席指定 会員S席3,600円・A席2,700円
一般S席4,000円・A席3,000円
O-70(70歳以上/A席限定)2,700円
U-23(23歳以下/A席限定)2,500円

*U-23の中学生以上の方およびO-70ご利用の方は、入場の際に身分証明書のご提示をお願いいたします。

託児あり *未就学児は入場できません。

共演

ヴィラー・ヴァルボネージ
(ピアノ)

©Florian Schuh

♪ 曲目

コレリ：ヴァイオリン・ソナタ第9番 イ長調 op.5 モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ ヘ長調 K.377
プロコフィエフ：5つのメロディー op.35bis ストラヴィンスキー：ディヴェルティメント
リリー・ブーランジェ：ノクターンとコルテージュ 大島ミチル：メモリーズ
マリー・クレメンズ・ド・グランヴァル：ボヘミアンヌ パツェヴィチ：ヴァイオリンとピアノのためのユーモレスク

今、多くの指揮者たちがこぞって共演を熱望し、その演奏に瞬時に虜になる聴衆が続々と増えている話題のヴァイオリニスト、金川真弓。ドイツに生まれ、日本でヴァイオリンと出会った後、ニューヨーク、ベルリンで研鑽を積んだ彼女は、2018年にロン＝ティボー国際音楽コンクール第2位入賞および最優秀協奏曲賞を受賞。翌2019年にはチャイコフスキー国際コンクール第4位に入賞を果たし、国際的にも大きな注目を集めているアーティストです。

今回のリサイタルでは、バロック時代から21世紀に至るまで広範に及ぶ作品の中から選曲したプログラムを披露。バロック時代のイタリアの作曲家、コレリと

ウィーン古典派の神童モーツァルトのソナタに20世紀を代表する作曲家のプロコフィエフ、ストラヴィンスキーそれぞれがヴァイオリンとピアノのために編曲した作品を挟み、19世紀および20世紀のフランスとポーランド、そして今世紀の日本の女性作曲家の作品で締めくくるといふ、今の金川の芸術的なこだわりを感じさせる意欲的な内容になっています。

シャープな知性がさええわたり、凛として美しく、気品を兼ね備えた金川の音楽には、一点の曇りもなく流麗で鮮やか。圧倒的なテクニックと聴き手の心の奥深くに迫りくる豊潤な音で繰り広げられる演奏に、ご期待ください。

《インタビュー》

吉井瑞穂

(オーボエ)



©Marco Borggreve

音楽の中にも「対話」「コミュニケーション」をととても大切にされるオーボエ奏者の吉井瑞穂さん。今回は、クラシック音楽との出会いからオーボエを手を持つまでの道のり、ドイツで生活した25年間とこれからの演奏活動の展開についてのお話を交えながら、風のホールでようやく実現となるリサイタルについてまで語っていただきました。

*インタビューの全文は、財団HPに掲載しています。(情報誌MARCL+では、その一部をご紹介します。)

クラシック音楽との出会い

オーボエを始める前に、ピアノを5歳で始めました。音楽家になるため、幼い頃から専門の教育を受けていたように思われがちですが、習い事や体操教室に行くようなノリで、近所にある桐朋学園大学「子どものための音楽教室」に通っていました。お教室には、ヴァイオリンやピアノで桐朋の音大に行きたい! という方ばかり。当時、同い年で現在も活躍されている東京都交響楽団(第二ヴァイオリン奏者)の遠藤香奈子さんや、クアルテット・エクセルシオ(第一ヴァイオリン奏者)の西野ゆかさんなどがいらっしやいました。

—中学生の時に、一人でオペラを聴きに行かれたと伺いました。

ミラノのスカラ座が来日した時、演目もよく知らずに神奈川県民ホールでの公演に一人で行ったんです。とりえずクラシックのコンサートに行ってみたい、と思っていた時期でした。

「竹刀」から「オーボエ」へ?!

—オーボエとの出会いは中学生になってからですか?

中学に上がったので新しい習い事でもやってみた、というのがきっかけでした。吹奏楽部かオーケストラで始める方が多いので、珍しいかもしれませんね。でも、当時本当にやりたかったのは、剣道だったんですよ(笑)。

—手に持つものが変わったわけですね(笑)。

確かに似てますよね(笑)。覚えているのは、材木座か七里ヶ浜の方の道場に見学に行ったら、先生も生徒も見事に全員男子だったんですよ(笑)。100人ぐらいいる男子の中に、たった一人の女子。これはちょっとやっていけないなあと思ってやめました(笑)。その後も色々な遍歴がありました。チェッカーズの大ファンだったので、ドラムやサクソフォンにも興味を持っていたのですが、家族からうるさいからやめなさい、ご近所に迷惑がかかるからと言われては諦め…、

そのように転々としながら、最終的にオーボエに辿り着いたんです。

—どなたから先生をご紹介されましたか?

当時師事していたピアノの先生の娘さんが芸高(東京藝術大学附属高等学校)に通われていて、その方から鎌倉在住の井口博之先生という素晴らしい先生をご紹介いただきました。井口先生は、読売日本交響楽団設立当初からの首席オーボエ奏者でした。思春期だということもあり、人間的に素晴らしい方に習うのが人間形成の面でも良いだろう、ということで、井口先生にお会いしました。オーボエは持ち運びも簡単みたいだし、やってみようかなと思ったのですが、実は私を含めて家族の中にオーボエがどんな楽器なのかを知っている者が誰もいなかったんです(笑)。楽器を買い与えてくれた両親には感謝しています。

お昼のコンサートに贈る「濃い」プログラム

—今回のプログラムについてお話をお聞かせください。

今回のプログラムは、なんというかものすごく「濃い」んです。お昼のコンサートなので、良い意味でライトな感じにもできるのですが、コロナになって夜に出掛けない方が増えたじゃないですか。出掛けても、日が落ちたら家に帰るという方が意外にも多くて…。東京の様子はわかりませんが、午後2時や3時の公演でも実は夜とあまり変わらないのではないかと。思いました。もちろん、アフターコンサートをやったり楽しむこともできる時間帯であるわけですが、このような現状の今だからこそ、本格的なプログラムにしたかったんです。

オーボエはレパートリーが少ないのですが、いわゆる名曲と呼ばれる作品、オーボエの神髄を突くような曲を並べると、聴いてくださる方々の中でストーリーができる、と考えました。聴いてくださる皆さんが思

い思いに感じたことが、コンサートのストーリーになればと。

出来上がったプログラムは結構濃くて(笑)、どちらかというと、玄人好みの選曲かもしれません。特に最後の曲はきついし、涙が出るような、体を縛られるような悲しい曲なのですが、まさに今そういう音楽が必要なのではないかと確信したんです。もっと心が温まる、癒されるような曲を選ぶ方が良かったのだろうか、と思いつつプログラムを考えていたら、ロシアによるウクライナ侵攻が起こったので…あ、そういうことか、と。

今回選んだ作品は、一筋縄ではいかない時代を生きてきた人たちの人間模様や歴史背景、アナログの時代の良さなどが伝わる曲ばかりだと思います。対面で香りが立ち上ってくるような芸術というのは重要です。だからこそ、カメラやインターネットを通してではなく、その場でダイレクトに感じる内容の作品を揃えてみたいと思いました。風のホールは音響も素晴らしいので、このプログラムはぴったりだと思うよ、と皆さんが仰いますので、このようなプログラムに決めさせていただきました。

—前半はシューマンが1849年に書いたロマンティックな2作品が続きます。1曲目は「アダージョとアレグロ」、2曲目はシューマンが妻クララへのクリスマス・プレゼントとして贈った「3つのロマンス」です。後者の第2曲が2021年1月に、ヴァイオリニストのイザベル・ファウストさんとピアニストのアレクサンドル・メルニコフさんのデュオで演奏されましたので、三鷹公演にご来場されたお客様には記憶に新しい作品かもしれません。

羨ましいです。というのもこの作品、実はオーボエで演奏するのは苦しいんです。お休みがなくメロディーをずっと吹いているので(笑)。その苦しい極限からくるエネルギーのようなものがあって、ふわっと吹くだけではなくて…。しかし、「ロマンス」はそれが醍醐味ですね。第2楽章は本当に天国と繋がっているなあと思います。

インタビューの続き、公演詳細は、次のページ ➡

《インタビュー》

吉井瑞穂

(オーボエ)

©Marco Borggreve

— 後半で演奏されるヒンデミットやハースの作品の背景と、ロシアによるウクライナ侵攻で苦しめられている人々がいるという現状は重なるものがありますね。

国境を越えたら顔や形、言葉が変わってしまう広大な大陸の中で起こる人と人との諍い。これらは歴史上で何回も何回も繰り返されています。でも、その中で必ず生まれる音楽だったり芸術だったりがあるわけです。それらが何を神髄として本当は伝えたかったのか、苦しさを伝えているのか、それとも100年後へのメッセージなのか、ということも考えたりします。もしかしら作曲家自身にはそんな精神的余裕はなかったかもしれませんが、言葉ではないもので表現をした時に、芸術家は今この時を考えるだけではなく未来に向けての、自分はいないけれども、もしいたとしたら何を聴きたいかな、ということまでもしかしら潜在的に考えていたのかな、と。もし生きていたら次世代に何を伝えたいのか、もしかしらこういうことを言っているのではないかとピンとくる瞬間があります。ヒンデミットの作品もそうですが、演奏

しているとビリビリ感じるところが随所にあるんです。恐らく和声の分析をしていくと明らかになると思うのですが。演奏していると、シグナルや暗号のように感じることがあります。学術的観点からではありませんが、言葉では表せない何かのようなものが伝わればと思います。

共演のピアニスト、岡純子さんについて

— 今回は、ヨーロッパの名だたる巨匠たちから共演を請われる名手、岡純子さんと共演ですね。

岡さんは、私がジュネーブにいた頃からの知り合いです。今はパリに住んでいらして、本当に素晴らしいピアニストです。このコンサートのためにお声掛けしたら、「やります」と引き受けてくださいました。8月の「浜松国際管楽器アカデミー」も偶然が重なって、岡さんにご出演いただけることになりました。10月の公演が決まってから色々な公演がビタビタと…。

— パズルが当てはまる、という感じですね。

そうなんです。そうあるべきかのごとくビタビタッと。10月2日は、岡さんも私も「晴れ女」なので、きっと晴れると思います。本当に楽しみにしています！

2022年6月

インタビュー・構成、写真：大塚真実（当財団 音楽企画員）

協力：株式会社Eアーツカンパニー、鎌倉ギャラリー

©Marco Borggreve

聴く者の心を震わせ、
潤す美音で魅了する国際的オーボエ奏者
待望のリサイタル

吉井瑞穂 オーボエ・リサイタル

10月2日(日) 14:00開演

チケット発売中 全席指定 5+ 託児あり *未就学児は入場できません。

会員S席3,600円・A席2,700円 / 一般S席4,000円・A席3,000円
O-70(70歳以上/A席限定) 2,700円 / U-23(23歳以下/A席限定) 2,500円

♪曲目

シューマン：アダージョとアレグロ op.70

シューマン：3つのロマンス op.94

ヒンデミット：オーボエ・ソナタ

レシェティツキ：ベートーヴェンの主題による変奏曲

ハース：オーボエとピアノのための組曲 op.17

岡 純子
(ピアノ)



吉井瑞穂
(オーボエ)



第7回山本有三記念館賞 福井利次「緑の庭の向こうに…」



第7回市民賞 菊地輝男「晩秋の午後」

第8回

三鷹市山本有三記念館 スケッチコンテスト 作品募集

本コンテストでは、山本有三記念館を題材とした絵画作品を募集いたします。

記念館は、大正末期に建てられた本格的な洋館であり、作家の山本有三が昭和11(1936)年から21(1946)年まで家族と共に暮らした家です。

三鷹市の有形文化財に指定されている歴史深い山本有三記念館を、あなただけのタッチで描いてみませんか？

協力：株式会社まちづくり三鷹
特定非営利活動法人みたか都市観光協会

募集作品 三鷹市山本有三記念館
または有三記念公園を描いたもの

作品募集期間 10月1日(土)～12月18日(日)

*郵送の場合は消印有効

コンテスト 2023年1月21日(土)～1月29日(日)

会場 三鷹市公会堂さんさん館

各賞：山本有三記念館賞、市民賞、審査員特別賞

*原則各1点(賞状+記念品)

審査方法：コンテスト来場者の投票
および審査員の推薦に基づき決定

*応募規定等の詳細は、ホームページをご確認ください。

*新型コロナウイルス感染症対策のため、実施方法等が変更となる場合があります。



第7回審査員特別賞 福井直子「大切にしたい洋館とお庭」



第7回審査員特別賞 本田翔太郎「そうぞうの家」

申込・問合せ

●三鷹市山本有三記念館 〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27 Tel:0422-42-6233

開館時間：9:30～17:00 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

入館料：300円(20名以上の団体200円) *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料
*「東京・ミュージアムぐるっとパス2022」利用者は無料 *受付にて「年間パスポート(1,000円)」を販売しています。

文芸

12 山本有三記念館

インタビュー

音楽

11 芸術文化センター 風のホール

三鷹市山本有三記念館 秋の朗読会

11月3日「文化の日」は、山本有三と大変ゆかりの深い祝日です。昭和23(1948)年、参議院の文化委員長を務めていた山本有三は、祝日法の制定に携わり、日本国憲法の公布日である11月3日を国民の祝日とすることに尽力しました。また、昭和40(1965)年には、この祝日に第25回文化勲章を受章しています。秋の深まる夕べ、趣ある洋館で有三作品の朗読に耳を傾けてはいかがでしょうか。

11月3日(木・祝) 18:00-19:30

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

出演 瀬戸口郁(文学座)、岡本温子(文学座) **演目** 「女の一生」(抜粋)

【定員】35人 **【参加費】**300円(入館料)

申込方法 往復はがきで下記申込先「朗読会係」宛てにお送りください。
往復はがきに①参加希望人数(2人まで)、②代表者の住所・電話番号、
③何を見て申し込まれたか、返信はがきに宛先をご記入ください。

申込締切 10月3日(月) *消印有効 *申込は、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

 往復はがき申込



瀬戸口 郁



岡本 温子

第43・44回 おはなし会

おとぎ話に出てくるような洋館のなかで、
おはなしを聴く楽しいひと時をお過ごしください。

第43回 10月8日(土) 14:00-14:30

第44回 11月12日(土) 14:00-14:30

会場 三鷹市山本有三記念館 1階展示室A

内容 絵本の読み聞かせ、紙芝居など

話し手 おはなしあずきの会
(三鷹市立図書館を中心に活動されているボランティアの皆様)

【対象】 未就学児から小学1年生程度

【定員】 各回5組程度(申込不要、直接ご来館ください。)

【参加費】 無料

*未就学のお子様は、保護者同伴でお越しください。
*同伴の保護者は、入館料(300円)が必要です。



参加ごとに
ポイント捺印の
スタンプカード
配布中

●三鷹市山本有三記念館 〒181-0013 三鷹市下連雀2-12-27 Tel: 0422-42-6233

開館時間: 9:30-17:00 休館日: 月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

入館料: 300円(20名以上の団体200円) *中学生以下、障害者手帳持参の方とその介助者、校外学習の高校生以下と引率教諭は無料

*「東京・ミュージアムぐるっとパス2022」利用者は無料 *受付にて「年間パスポート(1,000円)」を販売しています。



山本有三(昭和6年頃/出典:近代日本人の肖像)



山本有三の寄附を報じる「駿台新報」(昭和10年1月1日)

企画展 山本有三 —作家として、教育者として—

9月10日(土)～2023年3月5日(日) 協力: 明治大学史資料センター、明治大学図書館

山本有三は、作家としてだけではなく、教育者としても活躍した人物です。本年は、有三が明治大学文科専門部文芸科の科長就任90周年にあたることから、その在任期間である昭和7(1932)年から11年までの活動に焦点を当てた企画展を開催します。

昭和7年3月、有三は、明治大学からの招聘に応じ、新設された文芸科の初代科長に就任しました。在任中は、里見弴、豊島與志雄、岸田國士といった錚々たる文壇人(そうどう)たちを招請し、教師の裁量による自由闊達な講義を受け持たせました。また、映画や歌舞伎、展覧会の鑑賞、サーカスの見学など、教室外で行う講義を課程に採り入れるなど、暗記や詰め込みによらない「活きた文学の味得」を目指しました。

一方で、作家としても「女の一生」(昭和7～8年)、「真実一路」(昭和10～11年)といった作品を精力的に発表。その印税を大学に寄附し、学生の奨学金に充てるなど、まさに作家と教育者の両輪で活躍しています。

わずか4年の在任期間でありながら、有三が築き上げた文芸科は、その偉観を誇る講師陣の顔ぶれと、型にはまらない指導内容とで、今なお同大学史の中で異彩を放っています。印税の寄附を報じる新聞記事や、長編小説「女の一生」の初版本などの多彩な資料とともに、作家および教育者・山本有三の活躍をぜひご覧ください。



『女の一生』
(中央公論社/昭和8年11月)

太宰治展示室 三鷹の此の小さい家

企画展示

太宰治と生きる —津島美知子の決意と生涯

10月23日(日)まで開催中

観覧時間：10:00-18:00 観覧無料

休館日：月曜日(9/19、10/10は開館)、
9/8(木)、9/9(金)、9/20(火)、
9/21(水)、10/11(火)～10/13(木)

三鷹の自宅にて
昭和16、17年ごろ
個人蔵



太宰治が三鷹に移り住んだのは、昭和14(1939)年9月1日のこと。ここにたどり着くまでの間、生家からの義絶、腹膜炎の鎮痛剤・パピナルの過剰投与による中毒や芥川賞騒動など、混沌とした状態のなかで低迷していました。太宰にとって大きな転機となったのが、石原美知子との結婚でした。

美知子と出会ってからの太宰は、公私ともに健康を取り戻しました。作品もユーモアと明るさにあふれた名作を書き連ねていきます。昭和16年に発表した自伝小説「東京八景」には、三鷹の自宅で妻に再起を誓う印象的な場面があり、太宰の家庭への決意が述べられています。

私は、夕陽の見える三畳間にあぐらをかいて、おいしい食事をしながら妻に言った。「僕は、こんな男だから出世も出来ないし、お金持にもならない。けれども、この家一つは何とかして守って行くつもりだ。」

今年は太宰治の夫人 津島美知子の生誕110年。本展では、太宰文学を後世に残すために尽力した美知子の作家の妻としての決意と生涯、妻の一人語りや家族をモチーフにした太宰作品に加え、美知子が亡くなる直前まで推敲を重ねた『回想の太宰治』を紹介します。

太宰一家の営みを、「三鷹の此の小さい家」でご体感ください。



みたか太宰治作品倶楽部

昨年に続いて第2回となる今回は、昭和12年に発表された「灯籠」を取り上げます。事前に作品を読んで、当日、感想や疑問などを意見交換しながら講師から作品の成立過程や文学作品の読み解き方などを教わります。

おのおのの太宰文学の味わい方や感受性を共有しながら、太宰治と作品の新たな魅力を発掘する講座です。

第二話 10月28日(金) 15:00-16:30(予定) 【参加費】無料 【定員】6人程度

【指定作品】「灯籠」*受講生の皆様には、後日、テキストを送付いたします。 【講師】平 浩一(国士館大学教授)

【申込方法】往復はがきで〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 太宰治文学サロン「みたか太宰治作品倶楽部係」宛てにお送りください。

往信はがきに①参加者氏名、②住所・電話番号、③申込の動機を、
返信はがきに宛先をご記入ください。*申込は、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

往復はがき申込

【申込締切】10月17日(月) 必着

会場

●太宰治展示室 三鷹の此の小さい家(三鷹市美術ギャラリー内)

〒181-0013 三鷹市下連雀3-35-1 *JR三鷹駅(南口)前 CORAL5階 Tel: 0422-79-0033

【問合先】太宰治文学サロン Tel&Fax: 0422-26-9150

太宰治作品朗読会

18:00開演(18:50終演予定)



第150回 10月21日(金)

【出演】中村雅子(元福島テレビアナウンサー、朗読家)

【朗読作品】「魚服記」、『ロマネスク』より「仙術太郎」

太宰作品の朗読をライフワークとした、青森出身の中村雅子さんの朗読です。黙読では味わえない、津軽弁を交えた独創的な初期作品を、太宰ゆかりの地でお楽しみください。

【定員】10人 参加費無料 往復はがき申込

【申込方法】往復はがきで下記申込先「太宰治朗読会係」宛てにお送りください。

往信はがきに①ご希望の回、②参加者氏名(2人まで)、③代表者の住所・電話番号を、
返信はがきに宛先をご記入ください。*申込は、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選

【申込締切】10月3日(月) 必着

申込・問合せ

●太宰治文学サロン

〒181-0013 三鷹市下連雀3-16-14 グランジャルダン三鷹1階 Tel: 0422-26-9150 入館無料

開館時間：10:00-17:30 休館日：月曜日(月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日・翌々日が休館)

みたか井心亭 茶道体験教室

純和風数寄屋造りの穏やかな雰囲気茶室にて、お茶の点て方など茶道の基本的な作法を体験できる講座を開催します。

第4回 煎茶 12月4日(日) 14:00-16:00

第4回は、椅子に座りテーブルでお茶をいただく立礼です。

【講師】三鷹市茶道連盟

【定員】15人 【対象】茶道未経験者(小学3年生以上) 【参加費】500円/1人 【持ち物】白足袋か白い靴下

【申込方法】往復はがきで下記申込先「第4回 茶道体験教室係」宛てにお送りください。

往信はがきに①参加希望人数(2人まで)、②参加者全員の氏名・年齢、③代表者の住所、
④代表者の電話番号を、返信はがきに宛先をご記入ください。

*申込は、お1人様1通のみ *申込多数の場合は抽選 *申込締切後、1週間程度で抽選結果を記載した返信はがきを投函します。

【申込締切】11月2日(水) *消印有効

往復はがき申込

今後の開催日程(全6回開催予定)

第5回 裏千家 2023年2月4日(土)、第6回 表千家 2023年3月5日(日)

*申込内容等の詳細は、MARCL+で順次お知らせいたします。 *各回完結で、連続する内容ではありません。

【申込・問合せ】みたか井心亭 〒181-0013 三鷹市下連雀2-10-48 *JR三鷹駅南口から徒歩15分 Tel:0422-46-3922

文芸

太宰治文学サロン

16

ワークショップ

みたか井心亭

文芸

15

美術ギャラリー

ランニングのための コンディショニング講座

季節は秋。ランニングをするには大変良いシーズンとなりました。
怪我が増え、不調がちとなる冬に向けて、ランニングをするに当たっての体のケアについて学びます。
ストレッチや体幹トレーニングなど、ご自宅でも取り組める内容も含まれています。ランニングに限らず、
体のセルフケアやコンディショニングに興味があれば、どなたでも参加可能なプログラムとなっています。
ぜひ奮ってご参加ください。

10月16日(日) 13:15-14:45

会場 SUBARU総合スポーツセンター 小体育室

【対象】 三鷹市在住・在学・在勤で中学生以上の方

【定員】 20人 *申込多数の場合は抽選 **【参加費】** 500円

【持ち物】 動きやすい服装、ふた付きの飲み物、
マスク(講座中も着用必須)、汗拭き用タオル、
タオル(長さ85cm×幅35cm程度のもの。講座内で使用します。)

申込方法 講座申込システム

申込締切 9月27日(火)



講師 山路陽子

スポーツインストラクター

健康運動実践指導者。PFA
ピラティスアドバンスインストラ
クター。フィットネスウォーキング
インストラクター。健康意識の
向上にまずは歩くことから、そして怪我をしない
ランニングの普及に力を入れている。平成30年
度以降「ランニングのためのコンディショニング
講座」にて講師を務める。



SUBARU総合スポーツセンターでは 体の数値が測定できます！

トレーニング室をご利用の際、
一般的な体組成計を使って以下の数値が測定できます。

● **測定無料** (別途、トレーニング室の個人使用料金は必要です。)

測定内容 体重、体脂肪率、脂肪量、除脂肪量、筋肉量、体水分量、体水分率、推定骨量、
基礎代謝量、内臓脂肪レベル、脚点、BMI、標準体重、肥満度

■ より詳細な計測や評価をご希望の場合は、健康・体力相談事業*にお申し込みください。

* **健康・体力相談事業** 予約制 / 【対象】 高校生以上の三鷹市民 (在住・在勤・在学を含む)

体重、体脂肪率、脂肪量、除脂肪量、推定骨量、筋肉量、体水分量、タンパク質 など

測定内容 BMI、基礎代謝量、内臓脂肪レベル、アスリート指数 (筋肉総合評価、脂肪総合評価、脚部筋肉量点数、
筋肉量左右バランス、体脂肪率、筋肉量、体型判定 など)

健康・体力相談事業の詳細は、ホームページでご確認いただけます。

《健康・体力相談事業について》 <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/kenkousoudan.html>

《体組成の測定について》 <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/sosei.html>

- **SUBARU 総合スポーツセンター** [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/sports/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ内 Tel: 0422-45-1113
開館時間: 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日 (第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
- **講座申込システム** <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>



昨年度の公開講座の様子

三鷹市民大学総合コース公開講座

年間カリキュラムの一部を、学習生と一緒に一般の方も聴講
できる企画として公開しています。ぜひ、ご参加ください。

【市民大学総合コースについて】

市民大学総合コースは「市民がつくる、市民の学校」です。ゼミナール
形式による年間30回の継続学習で、学習課題について講義・討論・
発表などを重ね、その学びを通して仲間をつくり、学びの成果を地域活
動やまちづくりに広げ、生かしていくことを目指しています。この公開講座
の企画・運営も市民が行っています。

日本の安全保障

10月14日(金) 10:00-12:00

会場 生涯学習センター ホール

*令和4年度総合コース学習生は、講座の一環として受講します。

【定員】 20人

【対象】 16歳以上の三鷹市民 (在勤・在学含む)

【保育定員】 1人

*対象は満1歳～未就学児、一時保育ほしのこの登録が必要です。

申込開始 9月18日(日) 9:00から

申込方法 生涯学習センターへ電話(9:00-21:00) *先着制

講師

半田 滋

(防衛ジャーナリスト)



1955年生まれ。防衛ジャーナリスト。元東京新聞
論説兼編集委員。獨協大学非常勤講師。法政
大学兼任講師。92年より防衛庁取材を担当して
いる。2007年、東京新聞・中日新聞連載の「新
防人考」で第13回平和・協同ジャーナリスト基金
賞(大賞)を受賞。

パレスチナで働いて思うこと 基本的人権と尊厳と平和について考える

10月15日(土) 10:00-12:00

会場 生涯学習センター ホール

*令和4年度総合コース学習生は、講座の一環として受講します。

【定員】 20人

【対象】 16歳以上の三鷹市民 (在勤・在学含む)

【保育定員】 1人

*対象は満1歳～未就学児、一時保育ほしのこの登録が必要です。

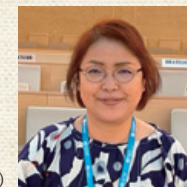
申込開始 9月18日(日) 9:00から

申込方法 生涯学習センターへ電話(9:00-21:00) *先着制

講師

坂元 律子

(JICA保健医療専門役)



1992年JICA入団。97年エジプト事務所赴任。
その後JICA本部にてアフガニスタン復興支援、
パレスチナ母子手帳など途上国の技術協力(保
健医療分野)に従事。2018年よりパレスチナ事
務所次長。約3年間エルサレム在住、自治区ラ
マッラ勤務を通じイスラエルとパレスチナの不信
と分断の現実を目の当たりに。現在はミャンマー、
ベトナムの母子保健・感染症対策等に携わる。

- **三鷹市生涯学習センター** [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521
開館時間: 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日 (第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
- **講座申込システム** <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>



みたかのアウトラインを歩く【牟礼・井の頭編】より

みたか学

みたかのアウトラインを歩く 【井口編】

なんとなく知っているけど詳しくは知らない、みたかについてのあれこれを、この際さっぱり学び、みたかについて考えるのが「みたか学」です。今回は郷土史の分野から井口に焦点を当てます。井口・深大寺の近世から現代までの400年の変貌を資料で解きほぐし、井口地区の市境を歩きます。街の歴史を学び、市境を歩いてそのアウトラインをつかみましょう。

座学 **井口・深大寺の歴史** (近世から現代) を辿る **会場** 生涯学習センター ホール

現地 **井口の市境を歩く** ～現在の井口地域のアウトラインを実感しよう～

場所 井口地区 井口地区の市境を歩きます。(ウォーキング 4km 程度)

① **座学** **10月22日(土) 13:30-15:30**、**現地** **10月26日(水) 10:00-12:00**
【定員】8人 【受講料】1,000円 *雨天時は11/3(木・祝)に順延

② **座学** **10月22日(土) 13:30-15:30**、**現地** **10月30日(日) 10:00-12:00**
【定員】8人 【受講料】1,000円 *雨天時は11/6(日)に順延

③ **座学** **10月22日(土) 13:30-15:30** *③は座学のみ 【定員】8人 【受講料】500円
*現地ウォーキングを希望する方は、①または②をお申し込みください。現地ウォーキングのみの参加はできません。

講師 相原悦夫 (郷土史研究者)

【対象】16歳以上の方 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
【持ち物】筆記用具

申込締切 9月30日(金) 必着 **往復はがき申込**
申込方法 講座申込システムまたは往復はがき

アイヌの文化と物語の世界

アイヌ民族の伝統的な世界観は、アイヌ「人間」とカムイ「環境」がよい関係を保つことが、人間に幸福な暮らしをもたらすということです。人間を主人公とするウエベケレ「散文説話」や、鳥や獣たちがその目から見た世界を描くカムイユカラ「神謡」などの物語も、その思想の上に築かれています。この講座ではアイヌ民族が口承で伝えてきたこれらの物語を通して、その世界観を理解するための道案内をしようと思います。



中川 裕

11月1日(火) カムイとは **【全3回】13:30-15:00**
11月8日(火) 神謡の世界 **会場** 生涯学習センター ホール
11月15日(火) 散文説話の世界 **講師** 中川 裕 (千葉大学名誉教授、「ゴールデンカムイ」アイヌ語監修)
【定員】40人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
【対象】16歳以上の方 【受講料】3,000円

往復はがき申込 **オンライン決済**

申込締切 10月5日(水) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき

楽しい短歌 ～短歌は誰でも作れます～

難しい言葉を知らなくても、短歌に関する知識がなくても大丈夫です。美しい花を眺めたり風のそよぎを感じたり、あるいは日々の生活の中でふと我が身をふりかえった時など、短歌が生まれる瞬間を誰もが持っているからです。

実際に短歌を一首作ってみて、その後短歌作品について話し合う「歌会」をみなさんと一緒に楽しみたいと思います。

筆記用具だけ持って、気楽・気軽な気持ちでぜひ教室へおいでください。



畑 彩子

11月3日(木・祝) 短歌とは何か **【全3回】10:30-12:30**
11月13日(日) 短歌表現を学ぶ① **会場** 生涯学習センター 学習室2
11月23日(水・祝) 短歌表現を学ぶ② **講師** 畑 彩子 (歌人・現代歌人協会会員)
【定員】15人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
【対象】16歳以上の方 【受講料】3,000円
往復はがき申込 **オンライン決済**
申込締切 10月9日(日) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき

ヤマトタケル伝承を読み解く

ヤマトタケルといえば、日本各地を平定して回った古代の英雄として知られています。しかし、その物語をきちんと読んだことがある人は、意外と少ないのではないのでしょうか。この講座では、『古事記』『日本書紀』の物語を手がかりに、ヤマトタケルの実像に迫ります。また、古代の人々の信仰や風習を読み解きます。スライドやビデオを活用し、初心者向けに分かりやすく解説する入門講座です。



鈴木正信

11月14日(月) ヤマトタケルの生い立ち **【全3回】10:30-12:00**
11月21日(月) クマソタケル征討 **会場** 生涯学習センター ホール
12月5日(月) 伊吹山の神との戦い **講師** 鈴木正信 (成城大学文学部准教授)
【定員】40人 *申込多数の場合は抽選、三鷹市民優先
【対象】16歳以上の方 【受講料】3,000円
往復はがき申込 **オンライン決済**
申込期間 9月12日(月)～10月19日(水) 必着 **申込方法** 講座申込システムまたは往復はがき

オンライン決済

このマークがついている講座は、「講座申込システム」での申し込みに関しクレジット決済(支払い方法)の選択が可能です、オンラインで決済することができます。

往復はがき申込

返信用表面に住所、氏名、往信用裏面に、講座名、氏名(フリガナ)、年齢、郵便番号、住所、電話番号、この講座を何で知ったかを記載 *詳細はHPをご覧ください。

●三鷹市生涯学習センター [HP] <https://www.mitakagenki-plaza.jp/shogai/>
〒181-0004 三鷹市新川6-37-1 元気創造プラザ4階 Tel: 0422-49-2521
開館時間 9:00-22:00 休館日: 毎月第4月曜日(第4月曜日が休日の場合は開館し、休日を除く翌日)
●講座申込システム <https://www.kouza.mitakagenki-plaza.jp>

申込・問合せ

三鷹市芸術文化センター 星のホール

MITAKA “Next” Selection 23rd



やみ・あがりシアター

第18回公演『Show me Shoot me』

9月11日(日)まで 全12公演 チケット発売中

	9/2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)
14:00		★	★	休演		☆	☆		●	●
19:00		★							●	
19:30	★						●	●		

★…早期観劇割引 ☆…平日昼公演割引 【託】…託児あり



ぼりぶん 第10回公演『一度しか』

9月29日(木)～10月10日(月・祝) 全12公演

チケット発売中 託児あり *10/1(土)のみ

【託】…託児あり

	9/29 (木)	30 (金)	10/1 (土)	2 (日)	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	9 (日)	10 (月・祝)
15:00			●	●	休演		●	●	●	●	●	
19:30	●	●	●	●								



桃月庵白酒 独演会

9月17日(土) 14:00/18:00 開演 チケット発売中



CINEMA SPECIAL 名画世界紀行

▶P3-4

9月24日(土)『きっと、うまくいく』

午前の部 11:00/ 午後の部 15:00 上映開始

チケット発売中

New!

11月19日(土)『おじいちゃんの里帰り』

午前の部 11:00/ 午後の部 14:00 上映開始

チケット発売日 会員 9月22日(木)/一般 9月23日(金)

託児あり



柳家権太楼 独演会 **【完売】**

9月25日(日) 14:00 開演



三遊亭兼好 独演会

10月15日(土) 14:00/18:00 開演

チケット発売中 託児あり



古今亭菊之丞 独演会 **【完売】**

10月23日(日) 14:00 開演



New! 柳亭市馬 独演会

11月12日(土) 14:00 開演

チケット発売日 会員 10月9日(日)/一般 10月14日(金)

▶P5



New! 第27班『蛭』

12月2日(金)～11日(日) 全13公演

▶P1-2

チケット発売日 会員 10月26日(水)/一般 10月27日(木)

託児あり *12/3(土)のみ

	12/2 (金)	3 (土)	4 (日)	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)
13:00		★	託	★	休演日			☆		●
14:00		★	託	★				☆		●
18:00		★	託	★					●	
19:00	★				●	●	●	●		

★…早期観劇割引 ☆…平日昼公演割引 【託】…託児あり



New! 柳家さん喬 独演会

12月17日(土) 14:00/18:00 開演

チケット発売日 会員 10月9日(日)/一般 10月14日(金)

▶P6

三鷹市芸術文化センター 風のホール



川口成彦 フォルテピアノ・リサイタル

9月19日(月・祝) 14:00 開演 チケット発売中



古楽実験工房プロデュース

はじめての古楽器!

9月25日(日) 14:00 開演

チケット発売中



吉井瑞穂 オーボエ・リサイタル

10月2日(日) 14:00 開演

チケット発売中 託児あり

▶P9-11



みたかジュニア・オーケストラ

第7回オータム・コンサート

10月16日(日) 14:00 開演

チケット発売中 託児あり



マリオ・ブルネロ

J.S.バッハ無伴奏チェロ・リサイタル

10月29日(土) 14:00 開演

チケット発売中 託児あり



小曽根 真×塩谷 哲 DUET 2022 **【完売】**

11月23日(水・祝) 16:00 開演



New! ジャン＝ギアン・ケラス

無伴奏チェロ・リサイタル —Dance—

12月18日(日) 14:00 開演

チケット発売日 会員 9月15日(木)/一般 9月16日(金)

▶P7



New! 金川真弓 ヲイオリン・リサイタル

2023年2月23日(木・祝) 14:00 開演

チケット発売日 会員 9月29日(木)/一般 10月6日(木)

▶P8

三鷹市公会堂 光のホール



New! 春風亭一之輔 独演会

11月26日(土) 14:00 開演

チケット発売日 会員 10月1日(土)/一般 10月8日(土)

▶P5

みたか井心亭



華道体験教室

第2回 10月23日(日) 14:00-16:00

申込締切 9月14日(水)



New! 茶道体験教室

第4回 煎茶 12月4日(日) 14:00-16:00

申込締切 11月2日(水)

▶P16

三鷹市美術ギャラリー



New! 太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」
企画展示

太宰治と生きる 一津島美知子の決意と生涯

10月23日(日)まで 10:00-18:00

▶P15



New! 太宰治展示室「三鷹の此の小さい家」

みたか太宰治作品倶楽部

第2話 10月28日(金) 15:00-16:30

申込締切 10月17日(月)

三鷹市山本有三記念館



New! 企画展
山本有三 作家として、教育者として—

9月10日(土)～2023年3月5日(日)

▶P13



New! 第8回 三鷹市山本有三記念館
スケッチコンテスト作品募集

申込期間 10月1日(土)～12月18日(日)

▶P12



New! 第43・44回 おはなし会

10月8日(土)、11月12日(土)

各回 14:00-14:30

▶P14



New! 秋の朗読会

11月3日(木・祝) 18:00-19:30

申込締切 10月3日(月)

▶P14

太宰治文学サロン



New! 太宰治作品朗読会 第150回

10月21日(金) 18:00-18:50

申込締切 10月3日(月)

▶P16

SUBARU総合スポーツセンター



New! ランニングのための
コンディショニング講座

10月16日(日) 13:15-14:45

申込締切 9月27日(火)

▶P17

三鷹市生涯学習センター



New! 市民大学総合コース公開講座
日本の安全保障

10月14日(金) 10:00-12:00

申込開始 9月18日(日) 9:00から

▶P18



New! 市民大学総合コース公開講座
バレスチナで働いて思うこと

10月15日(土) 10:00-12:00

申込開始 9月18日(日) 9:00から

▶P18



New! みたか学
みたかのアウトラインを歩く【井口編】

① 座学 10月22日(土)・現地 10月26日(水)

② 座学 10月22日(土)・現地 10月30日(日)

③ 座学 10月22日(土)

座学 13:30-15:30/ 現地 10:00-12:00

申込締切 9月30日(金)

▶P19



New! アイヌの文化と物語の世界

11月1日(火)・8日(火)・15日(火)

各回 13:30-15:00 申込締切 10月5日(水)

▶P19



New! 楽しい短歌

11月3日(木・祝)・13日(日)・23日(水・祝)

各回 10:30-12:30 申込締切 10月9日(日)

▶P20



New! ヤマトタケル伝承を読み解く

11月14日(月)・21日(月)・12月5日(月)

各回 10:30-12:00

申込期間 9月12日(月)～10月19日(水)

▶P20

*本誌に掲載している公演、展示、講座等につきまして、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、開催が中止(延期)になる場合があります。

*チケット購入枚数に、制限のある公演があります。 *U-23、U-25利用の中学生以上の方、0-70利用の方は、公演当日に身分証明書をご持参ください。

*学生券をお求めの方は公演当日に学生証をご持参ください。 *公演内容等に変更になる場合があります。 *営利を目的としたチケットの転売は固くお断りいたします。

*公演中止の場合を除き一度購入されたチケットの払い戻し・交換はできません。 *情報誌の作成中にチケットが完売となる場合もありますので、ご了承ください。

*風のホール2階席へのエレベーターはありませんので、階段をご利用ください。 *次号のMARCL+168は2022年11月発行予定です。